週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.12.03－12.14

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

＊記事は東京発行・最終版

CHINA

12月3日（月）

■清華大と車関連技術の研究
日産／包括的な連携

日産自動車は、清華大学蘇州自動車研究院と将来の車関連技術の研究と人材の交流で包括的な連携を図ることで合意。共同研究のニーズ・シーズのマッチングを図る情報交流の拡大など。　（6面）

■日ピス、中国で一貫生産
バルブシート／月300万個

日本ピストンリングは、儀征市にバルブシートなどを製造販売する新会社を設立し、2013年7月に生産を始める。日本で焼結した素材を加工していたが、一貫生産で月約300万個体制。　（6面）

12月4日（火）

■トヨタ、中国販売22%減
11月マイナス幅縮小／依然厳しい

トヨタ自動車は、中国での11月の販売が前年同月比22.11%減の6万3800台だった。不買運動が始まった9月から3カ月連続減だが、前月から改善。「依然としてまだ厳しい」。　（3面）

■アリババ、1兆元を突破
今年／ネット通販

中国電子商取引最大手・アリババは、傘下の通販サイト「天猫商城」と「淘宝網」の2012年の取引額が1兆元（約13兆円）を突破した。市場の急成長ぶりを印象づけた。　（時事＝3面）

デンソーのタイ子会社から技能五輪国際大会にタイ代表として出場するプリーチャー・マニウォンルンロットさん㊧（右はコーチ役の2007年大会銀メダルリストのコラコット・ニットアナンチャイさん＝4日付）

■省エネ提案－日系製造業支援
上海清環環保科技

日本人経営者が全額出資する省エネルギー事業者の上海清環環保科技は、中国に進出する設備機器メーカーや設備工事企業などと連携し、現地日系製造業への省エネ提案を始める。　（13面）

12月5日（水）

■日産、中国販売29%減
ホンダ29%減／11月マイナス幅縮小

11月の中国での自動車販売が、日産自動車は前年同月比29.8%減の約7万9500台。ホンダは同29.2%減の4万1205台だった。9月以降3カ月連続のマイナスとなったが、マイナス幅は縮小。（5面）

■セイコーエプソン、産ロボ拡販
車部品に照準

セイコーエプソンは産業用ロボット事業の拡大に乗り出す。ロボットはスカラー（水平多関節）型と小型の垂直多関節型が2本柱で、精密性の高さが特徴。電子部品や車部品に提案する。　（6面）

12月6日（木）

■スズキ、中国販売11月11%減
1－11月は16.5%減

スズキは、11月の中国での新車販売台数が前年同月比11.4%減の2万2832台になった。10月の3割減からマイナス幅が縮小。1－11月の累計販売は前年同期比16.5%減の23万2398台。　（5面）

12月7日（金）

■中・台で技術サポート強化
メック／電子基板用薬品

メックは、電子基板用薬品を拡販するため、中国と台湾で技術サポートを強化する。各現地法人で薬品の処理装置や分析装置を充実させる。海外の主力市場である中・台で営業攻勢。　（11面）

12月11日（火）

■中国、11月輸出2.9%増
日本からの輸入15.1%減

中国の11月の貿易統計によると、輸出は前年同月比2.9%増の1794億ドル、輸入は横ばいの1598億ドルにとどまった。日中関係の悪化で日本からの輸入は15.1%減少。マイナス幅が拡大。　（時事＝3面）

■タッチパネル技術を調査
日・中・台・韓／メック

メックは、日本、中国、台湾、韓国の4カ国でタッチパネルの技術や製造方法の動向を調査する社内プロジェクトを発足。最適な表面処理剤の開発につなげるのが狙い。　（11面）

12月13日（木）

■縫いしろスッキリ重なりなし
蝶理／中国工場に専用ミシン

蝶理は、ジャケットなどで縫いしろの重なりがない縫製技術「ツイン・ジョイント・ステッチ」の提案を始めた。シャープさや軽量感を持たせた。中国の縫製工場に専用ミシンを導入。　（10面）

■江守商事、上海に関連会社
化学繊維向け染料／中核拠点

江守商事は、上海市に関連会社「江守商事(上海)化工」を2013年1月に開設する。化学繊維向けに染料などを製造販売するほか、染色試験も手がける。中国、インドなどへの中核拠点。　（10面）

12月14日（金）

■蘇州にＡＴ試験センター
アイシンＡＷ／開発期間を短縮

アイシン・エィ・ダブリュは、蘇州市に自動変速機（ＡＴ）の試験・評価を行う技術支援センターを設立した。中国向けＡＴの試験・評価を現地化し、開発期間の短縮と顧客対応の強化。　（5面）

■エアバッグ基布を一貫生産
帝人フロンティア／年640万㎡

帝人フロンティアは、旭化成せんいなどと合弁で設立した江蘇省のエアバッグ基布工場を稼働した。織布からコーティングまで一貫生産する。生産能力は年640万平方㍍。　（15面）

■エフコム、中国ＩＴ企業と連携
中小向けＩＣＴ支援

エフコムは、中国のＩＴ企業とアジア地域での中小向けＩＣＴ支援事業で連携協定を結んだ。中国の業務向けアプリケーション開発を中心に。将来は東南アジアに事業拡大。　（27面）

TELOP

■中国の3社合弁、分離し新会社
マツダ（3日6面）

■樹脂成形品の香港子会社増資
ニフコ（4日5面）

■リオン、医用検査機器を投入
聴力検査器（4日11面）

■上海にグループ統括社
バンドー化学（11日11面）

■モスバーガー、上海出店
上海市内で100店舗目指す（11日15面）

■高級バネ鋼線の中国子会社増資
神鋼（14日15面）

■小麦加工で中国合弁
ジェーシー・コムサ（14日19面）

● ひと

撤退する企業も

「上海へ行ってきた。日常生活は平穏だった」と、橋などを設計する英エンジニアリング社長の山本俊英さん。「タクシー運転手も百貨店の物を強奪するのは中国人が悪いと言っていた」と明かす。「長期的に撤退する企業も出てくるだろう」と分析する。　（7日＝8面）

中国から世界を見ると…

「中国市場を狙うなら日本から中国を見るのでなく、中国から世界を見なくては」と東光通商社長の沖崎金光さん。金属粉末射出成形を手がける。量産工場をベトナムに新設。「コスト競争ではローカル企業に絶対に勝てない」と隣国から戦える体制を整えた。　（12日＝28面）

ASIA

12月3日（月）

■タイ日系、洪水前提に生産戦略
人手で運べる生産ライン

タイは、乾期に入り大洪水の危機は去った。ただ現地の日系企業は洪水を前提にして工場の被災を最小限に防ぐ対策を講じている。東芝キヤリアは生産ラインを人手で運べるように設計。　（2面）

■ＴＯＷＡ、韓国で汎用金型
追加受注タイプ／韓・中・台向け

ＴＯＷＡは、韓国で半導体樹脂封止装置用の汎用金型の生産に乗りだした。日本から製造設備を移設、月産能力20－25個のライン。追加受注（リピート金型）を韓国や中国、台湾に供給。　（7面）

■東北とタイ、1カ月で代替生産
ＮＥＣインフロンティア東北

ＮＥＣインフロンティア東北は、東北工場とタイ工場の間で、最速1カ月で代替生産できる体制を2013年度内に整える。災害時に電話機やＰＯＳ機器の供給を途切れさせない。　（8面）

12月4日（火）

■住友精密、日韓で受注
ＬＮＧ気化装置／数十億円規模

住友精密工業は、日本と韓国でＬＮＧ受け入れ基地の中核設備、ＬＮＧ気化装置を多数受注した。受注総額は数十億円。日本国内は東京ガスが茨城県日立市に新設する同基地向け。　（1面）

■インドネシアで火花
日本車メーカー投資ラッシュ

インドネシアで、日系車メーカーの投資ラッシュが続いている。人口2億4000万人の〝伸びしろ〟は魅力的。シェア9割の日本勢にとり譲れない市場。海外勢は切り崩しを狙う。　（深層断面＝24面）

■技能五輪、タイ子会社から出場
デンソー／現地主導の育成成果

デンソーのタイ子会社で、現地主導の技能者育成が着々と進んでいる。技能五輪国際大会（2013年）には、タイ子会社社員が「ＣＮＣ旋盤」競技でタイ代表として出場する。　（3面）

■アイシンＡＩ、タイに第3工場
ＭＴ冷間鍛造部品

アイシン・エーアイは、タイ工場に第3工場を建設し、2013年春に稼働する。日本から全量を送っている手動変速機（ＭＴ）用冷間鍛造部品を現地生産してコスト競争力を強化する。　（5面）

■日新電機、タイ工場を増設
日系からの受託拡大

日新電機は、タイ工場を増設する。日系メーカーから受託する自動車部品製造装置などの新たな生産工場棟と位置づけ、2013年6月に操業。日系には洪水後も現地生産の拡大意欲が高い。（6面）

■安田工業、タイに工場
ダクタイル鋳鉄／月産600㌧

安田工業は、タイ・ラヨーン県のアマタシティー工業団地でダクタイル鋳鉄工場を2013年11月に稼働する。月産600㌧。溶解から注湯、仕上げまで一貫生産の工場を建設する。　（10面）

12月5日（水）

■映像圧縮、復号化技術を供給
韓国チップス・アンド・メディア

韓国のチップス・アンド・メディアは、高画質映像を圧縮して配信できる映像符号化（ＨＥＶＣ）に対応したデコーダー（復号化）技術のライセンス供給を2013年1－3月に始める。　（8面）

■出光、韓国で有機ＥＬ材料
年産10㌧／サムスン・ＬＧ向け

出光興産は、有機ＥＬ材料を手がける韓国の全額出資子会社で2013年春に商業生産を始める。年間生産能力は約10㌧。サムスンディスプレーやＬＧディスプレーに供給。将来は日本にも。　（10面）

12月6日（木）

■ジェネリック農薬に参入
日本農薬／アジア・南米開拓

日本農薬は、ジェネリック農薬に参入する。企業の買収や出資などを活用する。安価なジェネリック農薬を、ボリュームゾーンのアジアや南米の新興国市場を開拓する。　（1面）

■太陽光発電で日本開拓
台湾の10数社

ＴＳＭＣソーラーやネオソーラーパワー、ＡＵＯなど台湾の太陽光発電関連企業が日本市場の開拓に乗り出す。10数社の台湾企業が来日、商談会で技術・販売パートナーを探す。　（3面）

■韓国太陽電池、日本で続々受注
日本勢の脅威

韓国の太陽電池メーカーが、日本のメガソーラーから相次いで受注。ＬＧエレクトロニクスは三井化学などの国内3位規模の太陽光パネル供給の1社に。中国勢に続き韓国も日本で台頭。　（8面）

■大和ハウス、東南ア重視に転換
ベトナムでは日系の工場建設

大和ハウス工業の海外事業が踊り場を迎えている。中国での不動産開発事業を矢継ぎ早に展開してきたが、最近では東南アジアでの事業展開を加速。ベトナムで日系企業の工場建設など。　（13面）

12月7日（金）

■災害復旧に韓国ＤＣ活用
ＫＶＨ／短時間で稼働

ＫＶＨは、韓国の釜山でＤＣ関連事業を強化する。災害からのシステム復旧サービスを開始、東京の拠点が全損しても釜山ＤＣ内の予備システムを短時間で稼働可能にする。　（10面）

■インフラ整備でミャンマー開拓
ＮＴＴデータ／現地育成の技術者活用

ＮＴＴデータは、ミャンマーで社会インフラ整備支援に乗り出す。金融を中心に日本のＯＤＡを活用したＳＩの受注獲得へ複数案件で調査。現地採用した技術者をタイやベトナムに派遣。　（10面）

■シード、東南ア4カ国に進出
使い捨てソフトコンタクト攻勢

シードは、シンガポール、インドネシア、マレーシア、フィリピンの東南アジア4カ国に2013年に進出する。日本製を前面に、主力の使い捨てソフトコンタクトレンズなどを販売。　（11面）

12月11日（火）

■住友化、タイ・米で生産増強
自動車部品用樹脂

住友化学は、自動車のバンパーなどに使うポリプロピレン樹脂混練（ＰＰコンパウンド）生産で、タイと米国で能力を2015年度までに増強。中国では3拠点目となる大連工場を年内に稼働。（1面）

■褐炭ガス化炉の実証プラント
ＩＨＩ／インドネシア

ＩＨＩは、インドネシアで褐炭をガス化する実証試験を2014年に始める。日量50㌧を処理するガス化炉の実証プラント。2015年にも同500－1000㌧規模の商用プラントの受注を目指す。　（6面）

■カンボジアでバイオエタノール
出光／原料キャッサバ栽培

出光興産は、バイオエタノール事業推進を目的にカンボジア政府と覚書を結んだ。カンボジアの農園でイモ類科のキャッサバを栽培し、これを原料にバイオエタノールを生産するスキーム。（13面）

12月12日（水）

■マツムラ電子、海外に再進出
ベトナム／制御基板・電子機器

マツムラ電子工業は、ベトナムで制御基板や電子機器の量産を2013年2月に始める。現地や東南アジアでの日系需要に対応。94年に海外初の工場を中国に設置したが96年に撤退していた。　（1面）

■阪和興業、インドネシアに拠点
非鉄金属スクラップ／回収・販売

阪和興業は、インドネシア、メキシコに事業拠点を開設する。インドネシアは非鉄金属スクラップの販売事業を現地自動車部品メーカー系企業と合弁で回収・販売を一貫で扱う。　（3面）

■双葉電子、アジアにも投入
金型内の樹脂圧力計測

双葉電子工業は、金型内の樹脂圧力計測システムを海外市場に投入する。耐ノイズ性や安定計測性を高めた新型を12日に国内で発売し、2013年には欧米やアジアへも順次投入する。　（6面）

■アジア太平洋でＩＴ首位に
ＮＴＴデータ／売上高2倍

ＮＴＴデータは、2014年度に、アジア太平洋地域の売上高を約2倍の3億ドル（約240億円）に引き上げる。シンガポールに技術者を移籍。地域のＩＴサービス企業で第1位を狙う。　（11面）

■ドコモ、韓国ソフトに出資
スマホ遠隔操作ソフト

ＮＴＴドコモは、韓国アールサポートに出資する。10億9000万円の第三者割当増資を引き受け。ドコモが発売するスマートフォン向けに遠隔コントロールソフトを提供する。　（11面）

■タイ石油精製に原油を輸送
日本郵船／3年

日本郵船は、タイの石油精製大手、タイオイル・パブリック向けに、大型原油タンカー「ＴＡＴＥＹＡＭＡ」での原油輸送を開始した。最低でも3年間、アラビア湾とタイを往復航海する。（16面）

■シンガポールＬＣＣ、日本拡大
東京以外3－4都市

シンガポール航空が出資する格安航空会社スクートは、2014年後半にも地方空港に就航する。東京以外に3、4都市からシンガポールへ定期便を就航。現在、成田から台北経由で1日1便。（17面）

■ＪＲＣＳ、ベトナムに拠点開設
船舶用機器メンテ／東南ア開拓

ＪＲＣＳは、数年内にベトナム・ホーチミン市に駐在員事務所を開設する。現地で人材を採用、育成し、東南アジア地域の船舶用機器のメンテナンス拠点に利用する。　（25面）

12月13日（木）

■ＦＴＡ・財閥が焦点
韓国・大統領選／19日

韓国の大統領選挙が19日、投開票される。保守系与党・セヌリ党の朴槿恵氏と革新系野党・民主統合党の文在寅氏の事実上一騎打ち。日本企業も無関心ではいられない。　（深層断面＝34面）

朴槿恵氏

文在寅氏

■韓国企業とクラッチ合弁
ＦＣＣ／韓国車から受注狙う

エフ・シー・シーは、韓国のクラッチメーカー「ＳＥＯＪＩＮオートモーティブ」と4輪車用クラッチの合弁会社を2013年1月末に設立する。韓国の完成車メーカーからの受注を目指す。　（5面）

■きんでん、インドに現法
日系からの引き合い増

きんでんは、インドに現地法人「キンデン・インディア」を設立した。日系の電気工事会社がインドに現地法人を置くのは初めて。日系企業からの工事引き合いが増えている。　（12面）

■韓国の農業、福岡に展示館
日本企業との連携探る

韓国の農業技術実用化財団は、ＦＡＣＴ農業技術展示館を福岡市中央区にオープン。食品や化粧品、野菜栽培機などを展示、日本企業との連携を探る。北京、ホーチミンに次ぐ3カ所目。　（33面）

12月14日（金）

■日立、インドに700億円
人員2倍／自動車部品の新工場

日立製作所は、インド・ニューデリーで海外初の取締役会を開き、インド事業戦略を発表した。2015年度までに設備投資700億円。人員は2倍の1万3000人に。自動車部品の新工場立ち上げ。（1面）

■タイ－人材不足に拍車
日本からの投資熱冷めず

〝東南アジアの工場〟として躍進するタイ。洪水の後も日本からの投資熱は冷めない。ただ、失業率は1%を切る完全雇用の状態にある。限られた労働市場を奪い合う。　（深層断面＝32面）

■青山製作所、インドネシア工場
ボルト・ナット／一貫生産

青山製作所は、インドネシア・カラワン県にボルト・ナット工場を建設し2013年4月に稼働する。トヨタ自動車やダイハツ工業の現地工場向けに供給。順次、一貫生産体制を整える。　（5面）

■タイでクラウド提供
ネットマークス／日系向け

ネットマークスは、タイに拠点を持つ日系企業向けにクラウドコンピューティングサービスの提供を始めた。バンコク市内のＤＣを活用。短期間で導入できる安価なＩＴインフラを提供。　（13面）

■ベトナムに正極材新工場
年1000㌧／住友大阪セメント

住友大阪セメントは、ベトナムで建設していたリチウムイオン二次電池用正極材料の新工場が完成した。生産能力は年間1000㌧で、2013年中に年2000㌧まで増強する予定。　（15面）

TELOP

■太陽電池、アジアに軸足
欧リニューアブル・エナジー（3日8面）

■ニチコン、アジア・福井に移管
長野を閉鎖（3日8面）

■ドコモ、シンガポールに現法
日本人に携帯・ＣＡＴＶ（3日9面）

■ＨＩＳ、ヤンゴンに支店
観光・ビジネス客が急増（3日15面）

■ミャンマーに委託開発子会社
ＮＴＴデータ（4日9面）

■ウレタン原料、韓国品に切り替え
三井化学（4日10面）

■インドネシア社に10%出資
大和ハウス（4日13面）

■山九、インドネシアに倉庫
日系の車部品・消費財（4日15面）

■佐川、ベトナムで3ＰＬ受託
流通加工など提供（4日15面）

■カルビー、インドネシア合弁
スナック菓子（4日15面）

■鉄道車輌工業、台湾社と提携
脱臭装置を相互提供（4日21面）

■ミカサ、カンボジア生産
バレーボール（5日3面）

■三井造船、東南アに照準
コンテナ用クレーン（5日6面）

■東京産業、インドネシアに現法
電子設備、工事・エンジ（5日7面）

■東南アでクラウド提供
新日鉄住金ソリュ（5日9面）

■インク生産、インド75%増
サカタインクス（5日10面）

■韓国に研磨剤販売子会社
フジミインコーポ（5日10面）

■ＨＩＳが航空会社
チャーター便／バンコク（5日12面）

■インドネシア大手銀と協定
池田泉州銀行（5日21面）

■ヤマハ発、タイに新型バイク
ペダル付き114cc（6日5面）

■川重、ガスエンジン2基納入
シンガポールＬＮＧ基地（6日6面）

■西華産業、バンコクに現法
産業機械・電気設備（6日6面）

■三菱電機、インドネシア販社
空調・家電・ＦＡ（6日8面）

■ビスキャス、シンガポールで受注
超高圧電力ケーブル敷設（6日8面）

■ソフト99、タイでワックスＯＥＭ
洗車場向け（7日5面）

■インドネシアにプラ部品生産会社
天馬とダイキョーニシカワ（7日5面）

■ベトナム工場本格稼働
ＪＦＥメカニカル（7日7面）

■韓国エネルギー会社に出資
オリックス、株最大49.9%（7日19面）

■インドネシア工場、稼働延期
イーグル工業／6月（11日5面）

■インドネシアに物流拠点を新設
バンテック（11日5面）

■森精機、タイ拠点が完全復旧
営業・サービス（11日6面）

■石井表記、タイ子会社を売却
電子機器向け印刷製品（11日7面）

■インドネシア2輪車、復調
11月／62万台（時事＝12日5面）

■フィリピン子会社を譲渡
ソニー生命（12日19面）

■フィリピン大手銀と協定
みずほコーポレート銀行（12日19面）

■印ファッションイベント
三越伊勢丹ＨＤ（13日3面）

■シンガポールに子会社
レシップＨＤ（13日5面）

■カンボジアから精米プラント受注
サタケ（13日7面）

■タイで金型工場を稼働
ユーアイテクニカ（14日9面）

■ＮＴＴコム、ベトナム事業
企業向けデータネットワーク（14日13面）

● ひと

富裕層に照準

「インドネシアで当社が得意とするハイエンドのヘルメットの市場が成長する」と期待するＳＨＯＥＩ社長の安河内曠文さん。現地の展示会に初めて出品した。ポイントは富裕層の拡大。「富裕層には最も高品質で高価な製品に人気がある」。　（4日＝5面）

水処理が魅力

「アジアで高度な水処理が魅力ある市場に育っている」と指摘するのは、京都大学教授の田中宏明さん。中国や韓国は下水などの汚水処理だけでなく、再利用に積極的だという。「日本企業がアジアで欧米企業と対等に渡り合うための強力な武器になる」。　（5日＝11面）

終わりのない競争に勝つ

「新興国市場攻略へ継続的なコスト改善を過小評価してはいけない。かなりの予算をかけて取り組んでいる」と三菱ふそうトラック・バス副社長のトゥッシェンさん。東南アジアでは日系・中国・韓国勢の競争が激化。改善と工夫で「終わりのない競争」を勝ち抜く。（6日＝5面）

飛ぶように売れる中古車

「ミャンマーでは中古車が飛ぶように売れている」とミャンマー証券取引センター社長の稲見成人さん。「一般の購買力が上がっている」という。「製造拠点というより、消費市場と見る向きが目立ってきた」との肌感。世界に広がる〝ミャンマーに商機あり〟。　（6日＝21面）